

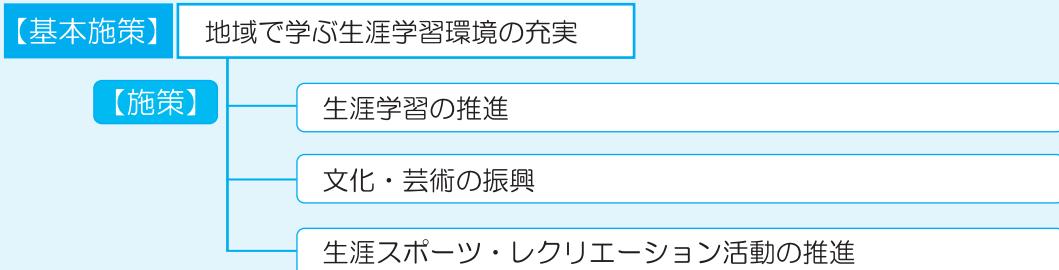
第3節 地域で学ぶ生涯学習環境の充実

◆ 計画がめざすまちの姿 ◆

『民間の学習・スポーツ機関などが協力し、子どもから高齢者まで生涯にわたり、求めに応じて学びや活動することができる幅広い生涯学習環境づくりが進められています。

そして、老若男女にかかわりなく、住民一人ひとりが学びを通して得た知識や技術をまちづくり活動に活かしています。』このようなまちをめざしていきます。

◆ 施策の体系 ◆



◆ 目標指標 ◆

指標名	現状値	目標値	
	平成21年度	平成27年度	平成32年度
地域の歴史や文化が住民に継承されていると思う割合	18.0%	24.0%	30.0%
住民一人当たりの年間図書貸し出し冊数	13.97冊	15.0冊	15.0冊
生涯スポーツ事業の参加者数	631人	700人	700人

◆ めざすまちの姿を実現するためのパートナーシップ ◆

- 主に行政は、生涯学習施設や関係団体と連携し、様々な生涯学習メニューを提供できる体制の構築に努めます。またパートナーシップとして住民は、生涯学習で得たものをボランティア活動などにより、社会に還元していくようにしていきます。
- 主に行政は、まちの大切な財産である歴史・文化資源の保全に努めます。またパートナーシップとして住民は、地域の歴史や文化に関心を持ち、次代に引き継げるよう芸術活動や文化交流活動などに参加するようにしていきます。
- 主に行政は、関係機関・事業者などと連携し生涯学習・社会体育施設の維持管理に努めます。またパートナーシップとして住民は、町の生涯学習・社会体育施設を積極的に利用し、まちの貴重な財産の維持に協力していきます。

1 生涯学習の推進

基本方針

住民の自発的な学習を促進するため、学習に関する情報の提供に努めます。また、住民が様々な学習活動によって得た成果を、まちづくり活動に活かせるよう、仕組みづくりに取り組みます。

(1) 現状と主要課題

- 本町では、住民の学習ニーズに対応し生涯学習活動を支援するため、平成17年度より公民館団体と社会教育団体等登録を一元化するとともに、登録団体の情報冊子を作成し情報提供体制を整備しています。
- 公民館やユーベルホール、図書館などの社会教育施設において、生涯学習に関する情報の提供を行うとともに、社会教育関係団体等の活動を支援しています。
- 既存施設の維持・管理については施設の老朽化や耐震化対策など、施設の大規模な改修時期に差し掛かっており、財政的な側面も踏まえ効率的な管理運営を行っていくことが課題となっています。
- 団塊の世代の退職期が到来しており、本町においても最も多い人口を占める、55歳から65歳の団塊の世代の方々の地域活動という新たなニーズへの対応が必要となっています。

(2) 主要な取り組み

● 生涯学習機会の提供

住民の自発的な学習活動を促進するため、自らの求めに応じた学習に関する情報を得ることができるよう、関係機関、団体と連携を強化するとともに、生涯学習に関する情報提供体制の充実を図ります。

● 学習の成果を活かせる仕組みづくり

住民が学習活動や地域活動、社会活動などを通じて得た学習成果が、まちづくり活動やボランティア活動など様々な地域活動で活かされるよう、仕組みづくりと支援体制の充実に取り組みます。

● 社会教育施設の運営

住民の学習活動の拠点である社会教育施設は、誰もが安心・安全に利用できるよう、施設の維持・管理に努めます。また、より効率的な運営を図るため、民間活力の導入による方策などを検討していきます。

2 文化・芸術の振興

基本方針

住民の自主的な文化活動の振興を図るとともに、住民が優れた芸術・文化に親しむことができるよう、機会の提供に努めます。

また、本町が有する貴重な文化財を保存・管理するとともに、これらを広く町内外の住民に周知するため、関係機関・団体などと連携し活用を図ります。

(1) 現状と主要課題

- 本町では個性ある地域文化の醸成を図るため、平成19年度より「豊能町展」や「ミュージックフェスタ」を地域住民や社会教育関係団体などと連携し開催しています。
- 公民館講座などとして、石仏めぐりや民話の収集保存・周知のための事業を実施し、地域文化の継承を進めています。
- 歴史・文化資源の保全に努めるとともに、団塊の世代の生きがいづくりに資する多様な活動メニューを提供できる環境を構築するため、歴史・文化活動としての石仏めぐりなどを広くPRするとともに、ボランティアガイドの育成などを模索していくことが課題となります。

(2) 主要な取り組み

● 文化財の保存・継承

郷土資料館を中心に、文化愛護意識の啓発を推進するとともに、埋蔵文化財などの調査及び保存・管理に努めます。また、町内各所に残る伝統や風習が後世に継承されるよう、学校教育などの活用を図ります。

● 地域の文化財を活用した取り組み推進

本町が有する全国的にも稀な多尊石仏や中世の城郭跡、キリスト教大名高山右近の生誕地などの歴史・文化資源を活用し、ハイキングルートの整備や案内板の設置など、豊能の歴史・文化にふれる文化事業を推進します。

● 文化芸術活動の推進

住民が優れた芸術・文化に親しむことができるよう、地域住民や社会教育関係団体などと連携し、「豊能町展」などの芸術鑑賞型イベント、参加型創造イベントの開催に努めます。

また、各種文化芸術団体に対する活動の場の確保支援、文化団体間のネットワーク化支援、文化活動リーダーの育成を図ります。

3 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進

基本方針

生涯の各時期にわたって、身近にスポーツ活動ができるよう、社会体育施設の維持・管理や学校施設の開放、各種教室の実施など、環境づくりを進めます。

(1) 現状と主要課題

- 本町では、地域スポーツの振興を図るため「体育指導委員会」などと連携し、健康増進と交流を目的とした各種教室の開催や手軽なスポーツの紹介、新たな団体設立に向けた支援などを実施しています。
- 高齢化や団塊の世代の退職期が到来しているなか、今後、地域での活動機会の提供や住民の健康増進などへの問題に対応していくことが必要となっており、団体活動の維持やニーズに即した活動を行うため団体間の連携を図っていくことが課題となります。

(2) 主要な取り組み

● 生涯スポーツの振興

子どもから高齢者まで、住民の誰もが各自の状態や状況、また、求めに応じて「いつでも、どこでも、だれでも、手軽に」スポーツ・レクリエーション活動が行えるよう、気軽に参加できる行事及び教室などの実施に努めます。また、地域における体育・スポーツ関係組織の自立支援に努めるとともに、団体間の連携と協働を推進し、交流事業の促進や活動の活性化を図ります。

● 地域スポーツの振興

身近な地域で、安心・安全にスポーツや運動ができるよう、地域スポーツの振興を図ります。

● 社会体育指導者の育成

町内におけるスポーツ活動の振興を図るため、社会体育指導者の育成と資質の向上に努めます。